

令和3年10月19日

愛媛大学

全国初の医農融合による公衆衛生大学院 「医農融合公衆衛生学環」の設置について (記者説明会の開催)

このたび愛媛大学では、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査等を経て、全国初の医農融合による公衆衛生大学院「医農融合公衆衛生学環」(修士課程)を令和4年4月に設置することとなりました。

本学環は、医学系研究科がもつ疫学、保健医療管理学、ヘルスデータサイエンスの知識と技術に関する強み、農学研究科がもつ環境汚染物質の測定や食品機能性評価の技術、食品衛生の知識と技術に関する強みの双方を活かした、医農融合による公衆衛生学教育を実現し、with コロナ時代における地域全体での健康増進・疾病予防、感染症対策に寄与することを目指すものです。

つきましては、下記のとおり記者説明会を開催しますので、ご取材くださいますよう、お願いいたします。

記

日時： 令和3年10月25日(月) 14時00分～15時00分

場所： 愛媛大学本部棟5階 第1会議室(松山市道後樋又10番13号)

会見者： 学長 仁科 弘重
大学院医学系研究科長 山下 政克
大学院農学研究科長 山内 聡

<お願い>

事前に取材の参加者数を把握するため、取材に来られる場合は10月21日(木)までに電話又はメールにて下記担当までご一報ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場ではマスクの着用及び手指消毒等にご協力願います。

本件に関する問い合わせ先
(記者説明会の開催について)
総務部広報課
Tel : 089-927-8968
Email : koho@stu.ehime-u.ac.jp

(設置の内容について)
医学部総務課副課長 高木 剛造
Tel : 089-960-5122
Email : mph@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚(本紙を含む)

1. 設置の目的（効果）

幅広い分野へ公衆衛生人材を輩出し、withコロナ時代における地域全体での**健康増進・疾病予防、感染症対策**に寄与

- 医学系と農学系の教員によって、**従前の公衆衛生の専門知識に加え、食を通じた健康増進にも焦点をあてた教育**を実施。
- これにより、**食生活と健康状態の関連を科学的に解明し、地域の食材を活用した機能性食品の予防医学への応用**など、健康増進や健康寿命の延長といった社会的課題に対応できる人材を輩出。これらは、**基礎疾患保有者の重症化リスクが高いとされている感染症対策**にもつながる。

2. 設置構想の経緯

【社会的背景】

- ・ **感染症の予防**と蔓延防止には、医療、介護、保健、産業など、様々な領域で公衆衛生学の知識を持った人材が求められている。
- ・ withコロナ時代における、**日常的な疾患予防や健康意識のさらなる高まり**によって、公衆衛生学の知識に加えて、食を通じた健康増進に関する知識を持った人材が求められている。
- ・ **愛媛県には、これまで公衆衛生大学院がなかった**ため、県内の行政機関や食品関係企業から、公衆衛生人材の育成に期待が寄せられている。

【医農連携に関する実績】

- ・ コーホート研究による疫学データベース、**地域と連携した健康長寿プラットフォーム**事業の展開
- ・ 腎臓疾患対応米の開発など、**医農連携による臨床研究と技術開発**
- ・ **地域の農産物を活用した機能性食品**の開発など、医農連携による食と健康に関する研究

（具体的事例）

愛媛県では心疾患の発症率が全国で最も高いため、**愛媛大学・愛媛県・民間企業で連携協定**を締結して、対策を推進。発症には食生活が密接に関係していることから、**地域の食材を利用した食生活の改善を、心疾患の予防につなげる取組**を展開。

3. 医農融合公衆衛生学環の概要

研究科等連係課程として、**医農融合による公衆衛生大学院**（修士課程）を設置
連係協力研究科：医学系研究科、農学研究科

特徴



- 医学系研究科が持つ疫学、保健医療管理学、ヘルステータサイエンスの知識と技術に関する強み、さらに、農学研究科が持つ環境汚染物質の測定や食品機能性評価の技術、食品衛生の知識と技術に関する強みの双方を活かした、**医農融合による公衆衛生学教育を実現**
- 研究科等連係課程制度を活用した**医農融合による公衆衛生学教育の取組は、全国で初めての**試みであり、今後、国内各地域に共通した課題の解決に向けたモデルケースになり得る

教育内容

- 国際的な公衆衛生大学院設置基準である**5領域を体系的な教育課程**として展開し、**農学系の教員によって食に関わる要素を加味**
- **医学及び農学の学際的な体制による融合型科目の開設**により、食を通じた健康増進に関する教育を実施
- **新型感染症を含む広範な感染症について学修する科目**「感染症・健康危機管理学」を開設

【養成する人材像】

公衆衛生の体系的な知識に加え、**食を通じた健康増進に関する知識及び技能**を有し、地域における様々な課題を認知して、科学的判断に基づいて解決策を講じる能力を備え、多様な関係者と協力して、**持続可能な健康施策を実現**することができる専門職業人（公衆衛生人材）

【学位】 修士（公衆衛生学）

主な進路

- ・ **医療専門職（医師・看護師・歯科衛生士等）** 食を通じて健康をサポートする医療サービスや疾病予防
- ・ **健康に関する実務者（保健師・栄養士、行政職員等）** 食生活を含めた健康指導など
- ・ **教育研究者** 健康施策の体系化や医療データの要因分析、コーホート研究など、食と健康に関する研究推進
- ・ **環境・食品関係従事者** 公衆衛生の知識、健康データベースを活用した健康関連商品の企画・開発